

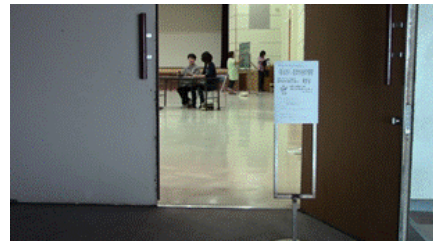
「伝えたい」気持ちを体で表現

9月29日（日）笠松中央公民館において

講師は、岐阜ろう劇団の河合依子氏と奥田しのぶ氏をお招きしました。

内容：表現についてのお話、ストレッチ、集中力・観察力を高めるゲーム他

いぶきの河合さんと奥田さんが講師をしていただけるなんて、すごく楽しみに参加しました。



3時間は長いかなと思っていたけど、お話・ストレッチ・ゲームいろいろとやっているうちにどんどん引き込まれ、気がつくともっとという間に時間が過ぎていました。とても楽しく良い経験になりました。

手話は手の動きだけではなく、表情・しぐさ・口の動きが大切だと痛感しました。



「きびしい」「つらい」一見同じ表現に見えるものが、ろう者の方の表現を見ると明らかな違いがありました。今後はもっと意識して手話を見ようと思いました。

相手にしっかりと伝えるために大事なこと

- 表情はとても必要
- 表現は簡単明瞭に



ストレッチやゲームで体を動かして、楽しみながら、学べました。

ひとつの手話を感情に合わせていろいろ使い分けることは難しかった。ただ手で表すのではないと改めて実感しました。



手話はやっぱり奥が深いと感じました。もっとろう者の方たちと交流をもちたいと思いました。ありがとうございました。